

プレスリリース
報道関係者各位

2017FY033
2018/02/20
「新しい東北」官民連携推進協議会

森林再生フォーラム 2018 in 北海道

公益財団法人オイスカでは東日本大震災で壊滅的被害を被った宮城県名取市の海岸林 100ha の再生に取り組む海岸林再生プロジェクト 10 カ年計画を通じて、津波や台風で被害を受けた森林の再生・保全活動、里山の保全等の復興支援活動を実践しております。

今回、森林を含む生物多様性の環境を守る大切さに加えて、森林再生の重要性や必要性などを知って理解を深めていただき、様々な活動参加や支援を促していく機会として「森林再生フォーラム 2018 in 北海道」を開催いたします。

森林再生の取組を多くの方々にご紹介し、理解促進と支援・応援の輪を広げて、森や海岸のグリーン復興や環境に優しい取組を持続・拡充を図ります。皆様のご参加をお待ちしております。

概要は添付資料をご参照ください。

【本件に関する報道関係の問合せ先】 公益財団法人オイスカ北海道支部 TEL : 011-867-9685 Email : oisca-h@ocn.ne.jp

※当プレスリリースは「新しい東北」官民連携推進協議会の事務局が協議会会員に代わって発信するものであり、内容についてのお問合せは上記問合せ先へお願いします。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております

国連生物多様性(グリーンウェイブ2018)推進キャンペーン協賛予定行事

森を生かす・森に生かされる

森林再生フォーラム2018 in 北海道

2018 年

3月24日(土)

13:30~17:00

札幌市教育文化会館 3F 研修室
(札幌市中央区大通西13丁目)

参加無料

定員150名
先着順・要事前申込み
(申込みは裏面参照)

身近な自然を守りたい、子ども達に豊かな緑を残したい。でも自分に何かできることはあるのかな？そんな風に思っていた人達が、力を合わせて少しずつ成果を上げている報告です。子ども達も一緒にできる活動やボランティアのヒントとなるかもしれません。

《プログラム》

基調講演 海岸林再生プロジェクト「元新聞記者の目から見たプロジェクト」

元日本経済新聞論説委員 小林省太 オイスカ普及指導員 浅野奈々穂

津波被害にあった海岸林の再生プロジェクト(東日本大震災復興)の取組みに関わる講演を頂きます。

活動報告1. 台風被害林での活動

北海道森林ボランティア協会 専務理事 酒井和彦

活動報告2. 恵庭えこりん村の森づくりと木のお皿

えこりん村 村長 庄司開作

主 催 公益財団法人オイスカ北海道支部
NPO法人北海道森林ボランティア協会
アレフグループ
(株)アレフ、デリシャス(株)、えこりん村)

後 援 北海道森林管理局
(申請中含む) 北海道
公益社団法人北海道森と緑の会
公益財団法人北海道環境財団
一般社団法人北海道CGCみどりところの基金
札幌ユネスコ協会
北海道新聞社、日本経済新聞社

◎本フォーラムは、「新しい東北」官民連携推進協議会との連携事業です

様々な要因で元の姿を失った森林は、人々が手助け(植林と育林)をすることで、自然の生命力により再生し、生物の多様性が溢れる環境が蘇ります。実際の取組みの説明に、目を向け・耳を傾けるところから参加してみませんか。森林の恩恵に感謝し、母なる地球を大切にしたいと行動意識が芽生えるきっかけになれば幸いです。



森林再生フォーラム2018 in 北海道 参加申込み要領

■参加申込みは、

- ・郵送またはFAXで申込みされる方は、下記の参加申込書に必要事項を記入の上(郵送はコピーを)送付願います。
- ・eメールで申込みされる方は、参加申込書の該当項目を記載して送信願います。

■申込書の送付先および問合せ先

- ・公益財団法人オイスカ北海道支部【幹事団体】 ※事務所への電話問合せは火曜日除く、平日 10:00～15:00
〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6ラルズビル3F
TEL: 011-867-9685 FAX:011-867-9685 メールアドレス:oisca-h@ocn.ne.jp

<参加申込書> ※複数の場合、連絡窓口となる方を先頭にご記入願います 【締め切り 3月20日(火)】

フリガナ		所属または 在住の市区町村	
お名前			
連絡先	電話番号:		
フリガナ		所属または 在住の市区町村	
お名前			
連絡先	電話番号:		
フリガナ		所属または 在住の市区町村	
お名前			
連絡先	電話番号:		

※申込人数が多数(記載欄が不足)の場合は本書をコピー願います。※上記情報は本行事の申込確認だけに使用させていただきます。

※グリーンウェイブとは

生物多様性事務局は、国連が定める国際生物多様性の日(5月22日)に、世界各地の子どもたちが学校や地域などで植樹等を行う「グリーンウェイブ」への参加を呼びかけています。この活動が地球上の東から西へ波のように広がっていく様子を、「緑の波(グリーンウェイブ)」と表現しています。

この活動は、毎年3月1日～6月15日の期間、子どもや若い人々にも森林や樹木等とのふれあいを通じて生物多様性の理解や普及啓発につなげるために行われます。